

かみまち議会だより GIKAI-Press



7/12 関東・東北パークゴルフ大会 ふれあいの森公園で開催 ※関連記事は6ページ

● 第2回定例会(6/10~12)

ウォーターパーク

町内小学生にWP利用券配布・・・P4
振興公社決算 議会はこう見る・・・P6
一般質問 町政を問う・・・・・・・P8

議会中継はこちらから



加美町議会映像配信

検索

<https://kami-town.stream.jfit.co.jp/>

の悲願 ついに着工！

今年6月下旬、新庁舎の建設工事が始まりました。新庁舎建設に
関しては、平成17年6月設置の「加美町新庁舎建設検討委員会」を
はじめに、さまざまな検討が行われてきました。検討の始まりから
工事開始に至るまでの経緯を、特に議論された庁舎の位置に関する
ことを中心に振り返りたいと思います。

石山 町長

R8. 6

新庁舎建設工事開始

R6. 7

新庁舎建設検討委員会を再設置し
機能など検討を開始

R5. 11

新庁舎位置を条例どおり矢越とす
る方針を表明

R5. 3

新庁舎整備検討委員会から報告書
を町長に提出

R3. 8

新庁舎整備検討委員会を再設置し
位置や規模など検討を開始



耐震改修工事までの経緯はこちら
(議会だより第43号)

星・佐藤町政

平成15年の合併以来、

学識経験者・町民・議
員・町職員によりさまざ
まな委員会を組織し、新
庁舎建設に関して検討を
行いました。

これらの検討・調査の
結果をもとに、平成22年
5月、庁舎の位置を矢越
とする条例改正案が議会
に提出されました。本件
は重大な案件であること
から、地方自治法に定め
られた、出席議員の三分
の2以上の同意を要する
特別多数議決が適用され、
賛成13人、反対6人で可
決となりました。その後、
予定地の農地転用・買収、
造成工事や建物の基本設
計までが実施されました。
しかし、平成22年11月、
庁舎の位置を西田（現庁

舎の隣）に改めることを
求める住民直接請求によ
る、条例改正案が議会に
提出されました。議会
では、請求代表者と町から
意見を聴いた上で本件を
審議した結果、賛成7人、
反対13人で否決となり、
庁舎の位置は矢越のまま
となりました。

猪股町政

その後、町長が交代し、
平成23年9月の議会にお
いて、庁舎の位置を西田
とする方針が表明され、
平成24年3月、12月に、
庁舎の位置を西田とする
条例改正案が議会に提出
されましたが、いずれも
否決となりました。条例
で定められている位置と
町長の方針が異なり、新
庁舎建設が足踏み状態と
なりました。

石山町政

町長に提出された報告書
によると、位置の比較検
討においては、機能・財
政・スケジュール面にお
いて、矢越・西田の差は
ほとんど無いとのことで
した。

令和5年8月、石山町
長が就任し、翌月の議会
において、※合併特例債
の発行期限が迫っている
ことから早急に新庁舎建
設を進める方針を表明。
同年11月の全員協議会、
町政懇談会においては、
条例どおり矢越への建設
を進める方針を表明し、
令和8年6月、新庁舎建
設工事が開始しました。



議会だより
バックナンバー

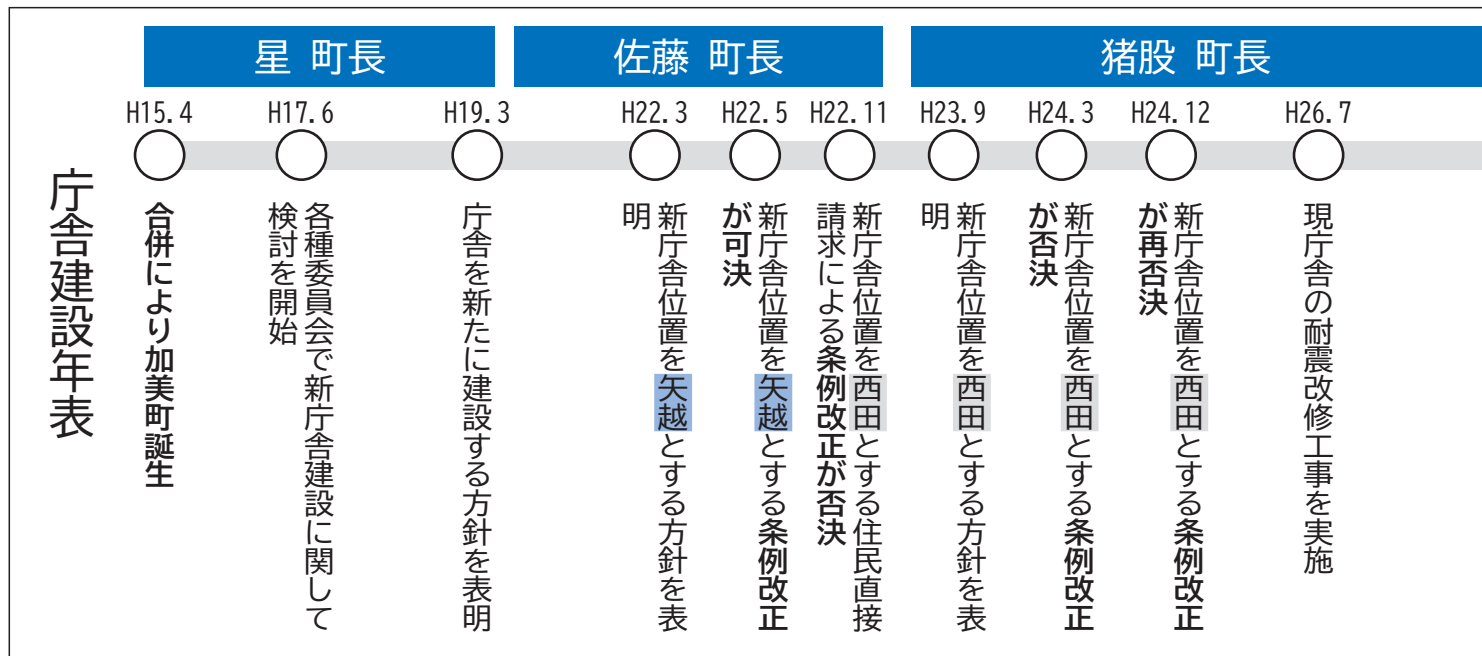
議会だより 新庁舎位置
についての記事掲載号

・矢越に決定：第30号

・住民直接請求の条例改
正を否決：第32号

・町長提案の条例改正を
否決：第37・40号

新庁舎建設 合併以来



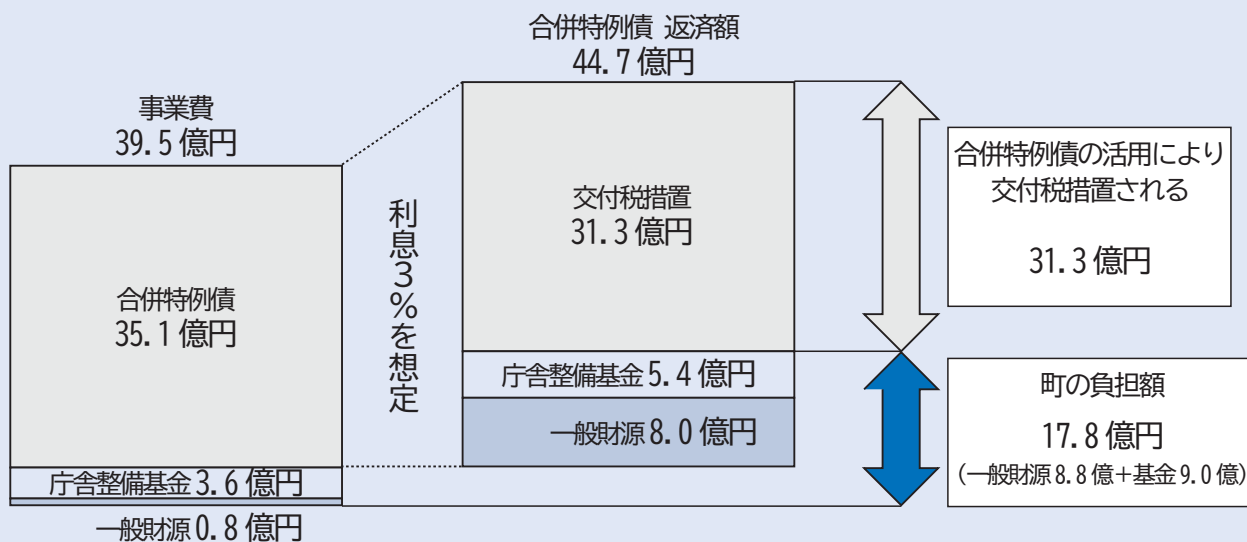
合併特例債とは

合併した市町村が、新しいまちづくりのために行う事業の財源として発行できる地方債（借入金）です。

対象事業費の95%まで借入でき、毎年、利子を含む返済金の70%が普通交付税で措置されます。つまり、実質3割負担でお金を借りることができます。有利な借金です。

新庁舎建設は、この合併特例債と庁舎整備基金（庁舎整備のための貯金）を活用することで、これからの町の負担を小さく抑えて実施されます。

合併特例債には発行期限があり、加美町の場合は令和10年度末が期限です。それまでに新庁舎の建設から旧庁舎の解体まで完了しなければならぬため、令和6年度以降、基本設計・実施設計を迅速に行い、建設工事に至っています。現在の予定では、新庁舎完成が令和9年度、引越しが完了して開庁するのが令和10年5月となっています。





補正予算

ウォーターパークで安全なプール遊び

町内小学生に利用券配布 96万円 増

酷暑による熱中症の危険があるため、夏休みの小学校プール開放を行わず、代わりに町内の小学校に通う児童にウォーターパークの利用券を配布します。

夏休みのプール開放は、子どもたちの健康増進、体力づくり、水泳技術の向上などを目的に行われていました。しかし、年々暑さが増してきており、屋外でのプール遊びでは熱中症の危険があることから、ウォーターパークの屋内プールを利用して安全にプール遊びを行ってもらうための事業です。

本事業は当初予算に計上されていましたが、公社との協議の結果95万円増額補正され、総事業費は250万円になります。

配布枚数：1人5枚
利用期間：7/1から1/31まで

第2回定例会

【本会議】(6/10～12)
6/10 一般質問 4人
6/11 休会
6/12 一般質問 3人
議案審議

第2回定例会は、6月10日から12日までの3日間で開催し、7人の議員が町政について一般質問をしました。
議案審議では、令和7年度加美町振興公社決算などの報告のほか、除雪車両の購入契約や令和8年度一般会計補正予算、教育委員・農業委員の任命同意などを審議し、原案のとおり可決しました。

定例会で審議した内容

報告	専決処分の承認(条例改正)	工事請負変更契約の締結	物品購入契約の締結	補正予算	人事案件
6件	2件	1件	4件	4件	2件

令和7年度のプール開放実施状況

令和7年7月22日～25日

学校名	実施	途中中止	中止
中新田小学校	0日	4日	0日
広原小学校	3日	0日	1日
鳴瀬小学校	4日	0日	0日
東小野田小学校	0日	0日	4日
西小野田小学校	4日	0日	0日
鹿原小学校	0日	2日	2日
賀美石小学校	0日	1日	3日

※いずれも熱中症指数の上昇による中止
※宮崎小中学校はプール設備故障のため実施せず

問 ウォーターパークへの交通手段は、町でバスを出すのではなく、家庭での送迎になるのか。

答 そのようになるが、利用期間を7月1日から1月31日までと長く設定しているのので、これを機に、ぜひ利用してもらいたい。



バス時刻表

加美町振興公社で、薬師の湯・ウォーターパークまでの無料送迎バスを出しています。



【農業委員】
米川 功 さん
R8. 6. 25～R10. 3. 31



【教育委員】
天野 大真 さん
R8. 6. 29～R12. 6. 28

教育委員の任期満了、農業委員の欠員補充のため、各委員に天野大真さん、米川功さんを任命することに同意しました。

教育委員・農業委員 の任命同意



一部学校は授業でもウォーターパークを利用
(写真上下：小野田小学校)



2tダンプトラック
価格：626万1,000円
配備：建設課

公用車が更新時期を迎えたことから、新たに車両を購入します。

各種車両の購入



11t級



0.5m³クラス

0.5m³クラス車輪式ドーザー
11t級車輪式ドーザー
価格：833万8,000円
2,281万1,800円
配備：宮崎支所



後



前

小型動力消防ポンプ付き積載車(2台)
価格：1,654万4,460円
配備：加美町消防団

令和5年度に、8,000バレル以下の汚染廃棄物の新しい処理方法として、宮城県から汚染廃棄物の処理可能な圏域外事業者の調査を行ってきました。

令和5年度に、8,000バレル以下の汚染廃棄物の新しい処理方法として、宮城県から汚染廃棄物の処理可能な圏域外事業者の調査を行ってきました。

これまで一時保管されてきた農家・田代放牧場跡地並びにすぎ込み圃場周辺住民・早期処理に協力していただいた皆様や、役場担当職員に心より感謝申し上げ、本委員会の調査報告といたします。

報告文(抜粋)



委員長
三浦 英典

最終報告
放射性汚染廃棄物処理等調査特別委員会
4月に処理完了 協力に感謝

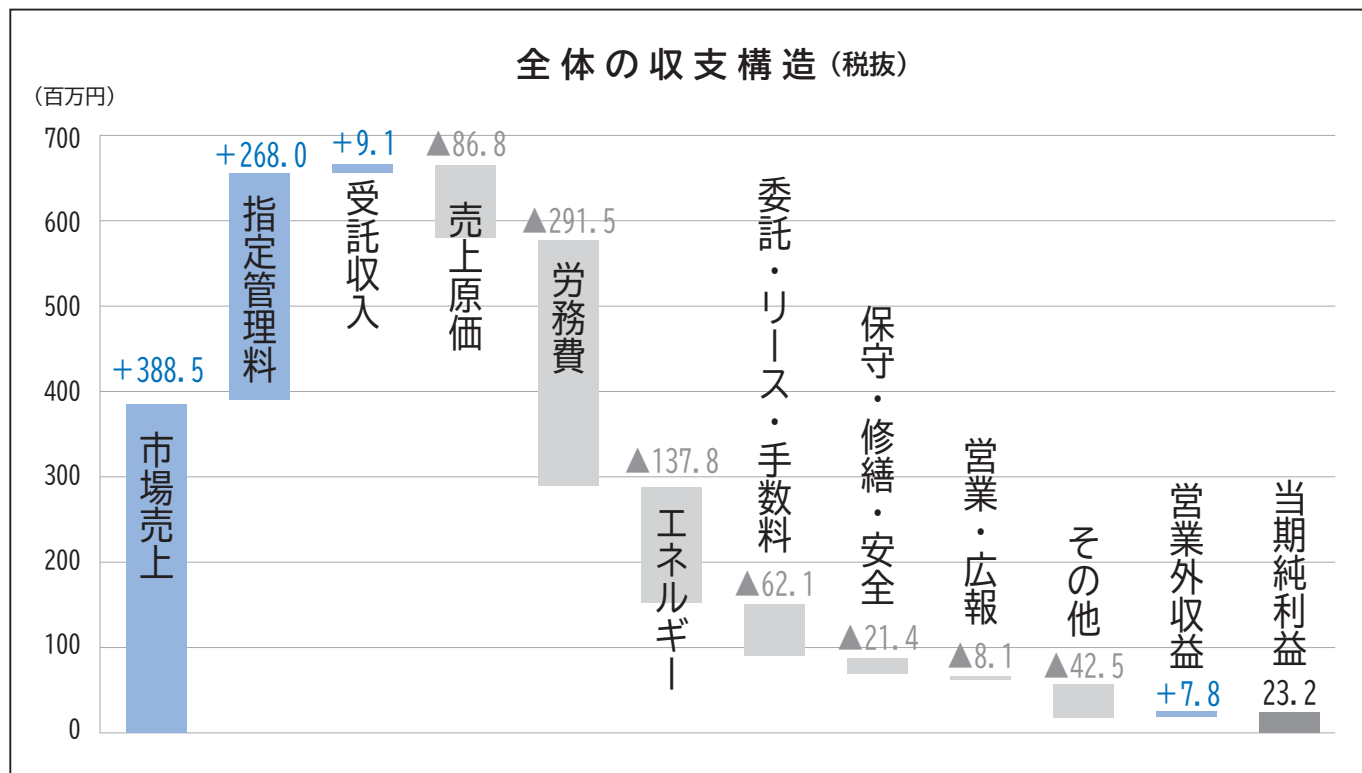
特別委員会は、平成29年4月に設置し、これまでの9年間に計23回、放射性汚染廃棄物処理などの調査を行ってきました。

この情報提供がありました。町は、一時保管農家の一日も早い負担解消のため、圏域外処理委託をすることを決定。農地還元事業と圏域外処理委託を同時に実施することにより、処理のスピードは一気に加速し、本年4月に完了しました。

一般会計補正予算

主な内容		補正額
歳入	地域農業構造転換支援事業補助金	3,071万7,000円増
	町有地売却収入	5,346万4,000円増
歳出	子育て応援ギフト支給業務委託料	220万円増
	農作物等輸出入促進事業	470万3,000円増
	油流出対応業務委託料	970万円増
	プール利用助成業務委託料	95万6,000円増
	中新田小学校校庭整地工事	286万円増

加美町振興公社は、町と民間企業などが共同出資する株式会社で、町の施設の管理・運営を担っています。第2回定例会で令和7年度決算の報告がありましたので、その内容を議員の視点からのコメントを添えてお知らせします。



純利益2,322万円も、更なる経営改善に期待!!
町は過去最大の指定管理料2億9,482万円(税込)を拠出

問 コテージのように指定管理料がゼロで黒字の施設もあれば、ぶな林のように指定管理料を入れても大幅赤字の施設もある。

答 公社の運営については、経営努力によって稼ぐ側面と、指定管理料によって住民福祉を向上させる側面があると思うが、それらを明確に区分するべきではないか。

問 新コンセプトであるヘルス&キッズを、どのように公社内に周知し進めていくのか。

答 既に職員全員に伝わっており、今後も毎月の会議で事業計画を確認していく。

問 個々の施設ごとに運営のあり方をしっかり考えながら、それが見える形になるように、指定管理料も考えていきたい。

議員の視点

令和7年度は、現場の努力もあり黒字決算となりました。一方で、その収入には町からの指定管理料2億9,482万円が含まれています。

施設別の決算では赤字の施設が目立ちますが、議会として重視するのは、赤字そのものではなく、赤字の理由と負担のあり方です。町民サービスとして必要な赤字なら町がどこまで支えるのかを明確にし、民間企業として改善できる赤字なら料金や現場体制の見直しが必要です。

町が政策として支える部分と、公社が民間企業として稼ぐ部分を分けることで、現場の努力が正しく評価され、町民福祉の向上と財政負担の軽減を両立できるよう、施設ごとの役割や運営方式の見直しを働きかけていきます。

施設別 決算概要(税抜き)

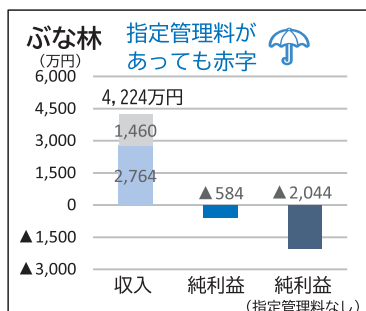
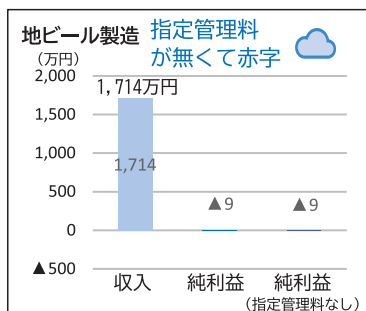
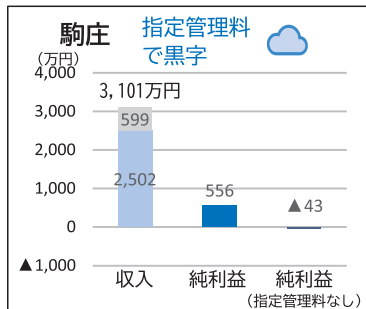
※紙面の都合上、主な施設のみ掲載しています。

収入の内訳

- 市場売上
- 指定管理料
- 受託収入(薬師の湯・陶芸館)

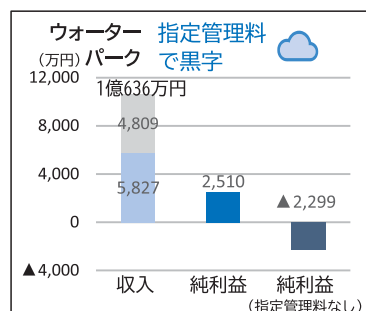
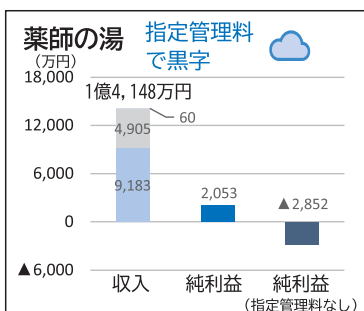
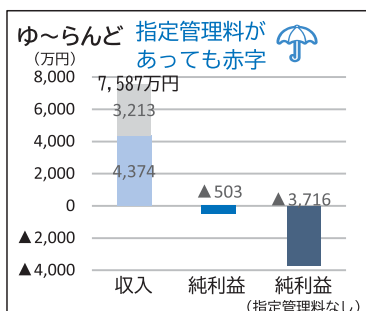
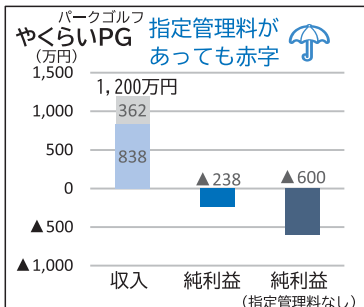
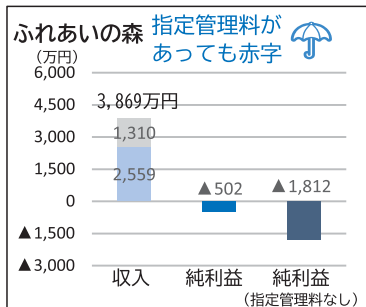
飲食施設

駒庄は自立化が見え、地ビールもほぼ収支均衡しています。一方、ぶな林は指定管理料を含めても赤字です。飲食施設には稼ぐ分野として、料金・営業日・メニュー・民間活用を含めた再設計で黒字化を期待します。



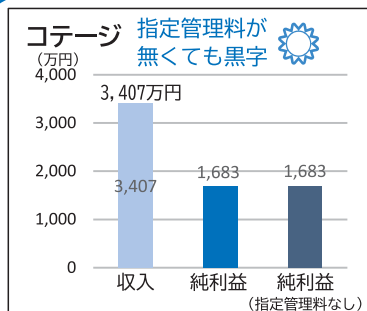
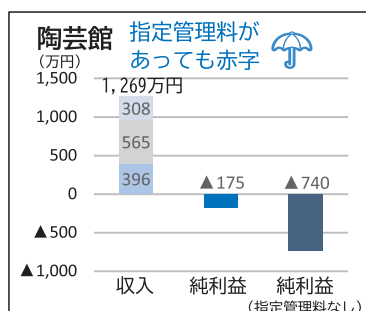
健康増進施設

温泉・プール・パークゴルフ場は、健康増進や交流の場として公費負担の意義があります。一方で、町民利用と町外・観光利用を分け、町が支払うべき福祉的予算を明確にし、料金や運営改善につなげる必要があります。



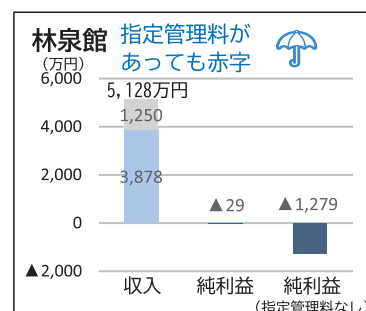
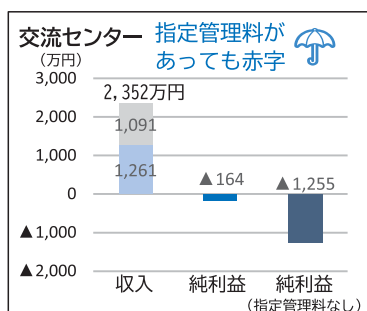
その他施設

陶芸館は文化継承の意義があります。体験・物販で稼ぐ部分と、町が支える部分を分けて整理する必要があります。



宿泊施設

コテージは指定管理料なしで黒字となっており、さらに伸ばせる施設です。一方、林泉館・交流センターは指定管理料を含めても赤字であり、稼働率、客単価、団体・合宿利用など、宿泊施設としての改善目標が必要です。



町政を問う

7人が質問

似顔絵を描いてくれたおともだち

学校法人慈園学園

中新田幼稚園 なかよしこども園
ゆり・きく組



一般質問目次



通告1番 伊藤 由子 (いとう ゆうこ)

庁舎建設 9ページ

合併特例債返済額は44億円



通告5番 早坂 潔 (はやさか きよし)

災害対応 11ページ

災害に備える行動の変容を



通告2番 高橋 聡輔 (たかはし そうすけ)

観光振興 9ページ

各種イベントで経済効果を



通告6番 今野 清人 (こんの きよと)

施設利活用 11ページ

旧宮崎中学校の利活用は



通告3番 早坂 忠幸 (はやさか ただゆき)

施設利活用 10ページ

旧鹿原・西小野田小学校の利活用は



通告7番 木村 哲夫 (きむら てつお)

防災力向上 12ページ

危機管理監を講師に研修会を



通告4番 田中 草太 (たなか そうた)

通学バス 10ページ

子どものため、柔軟な運用を

- 一般質問…議員が、町への政策提言や町の課題などについて、町に質問すること。
(掲載しているQRコード(議員写真下)で、録画映像を視聴できます。)

合併特例債返済額は44億円

町長 償還方法の見直しを検討中



伊藤 由子 議員



録画映像

質問のねらい

中東情勢の影響下、請負金額の大幅な増額が予想され、財政に対する不安の声が多く、住民から聞かれる。今後の財政計画を伺いたい。

● 漆沢集落の生活・文化の保護、保全

その他の質問

問 加美町の人口が2万人を割ったことが国勢調査でわかった。人口の減少は、地方交付税額に影響するのでは。

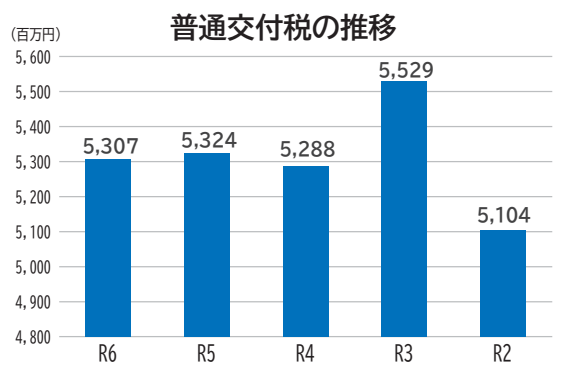
町長 合併特例債の償還は15年間で計画。借入金利が上昇傾向にある中で、償還金額の抑制につながる償還方法を検討中。

問 合併特例債35億1,000万円に利子（9億6,000万円）を合わせた44億7,000万円を返済するとの説明が町政懇談会であったが。

町長 令和9年度の当初予算には、見込みを提示できると思う。想定では3,000万円くらいはかかるかと試算している。

問 新庁舎の維持管理費の見込みは。バツハホールは6,000万円余り、やくらい文化センターは4,000万円余りだが。

町長 人口が5年前に比較して大幅に減ったが、加美町に対する交付税が大幅に減ることはない。



各種イベントで経済効果を

町長 缶バッジなどの土産物を開発

問 バツハホールやグラベルレースなどさまざまなイベントを予定している。開催にかかる費用に対し、町の経済的なメリットが見られないが。

町長 台湾特産のパイナップルジュースを仕入れてジェラートの試作などを行っている。今後それらに対し嘉義市との友好協定などのストーリーと共に販売すべく加工品なども検討していく。

問 現在、台湾嘉義市と様々な進んでいるが、今後町内企業や商店に影響を与えるための構想は。

町長 概念的な物が共有されている状況であり、今後青写真を描いていく段階にある。

問 若い世代誘客のための「ヘルス&キッズ」はどのような段階か。



高橋 聡輔 議員



録画映像

その他の質問

● 教育環境



観光協会が作成したかみ〜ごぬいぐるみ

町長 食べ物や商品開発に時間がかかるので、缶バッジやぬいぐるみなどから始め、お金を落としてもらえる状況や土台を作っていく。

問 早急に経済効果を得るためのスキームを検討すべきと思うが。

町長 課題と認識しているが、町として統一的なパッケージのお土産がないので今後企画していく。またイベントを行う場所と商店街をつなぐような誘導策も検討していく。

質問のねらい

さまざまなイベントが行われているが、経費に比べるとメリットが見られない。町として稼ぐ仕組みを検討すべき。

旧鹿原・西小野田小学校の利活用は

町長 地域の皆様と協議を進める



早坂 忠幸 議員



録画映像

町長 現時点での利活用の方針は未定だが、地域の意見や、民間事業者を募る手法なども視野に入れ進める。

問 両地域には公民館、防雪センターがある。体育館を利用との声もある。一体的な利活用が望ましいと思うが。

町長 コミュニティー推進協議会、そして地域の皆様の考え方、要望を聞き、話し合いを始める。

問 両地域にはコミュニティティー推進協議会があるので、今後の利活用について話し合ってもらいたいと思うが。

町長 令和10年度までは減少しない。令和11年度から段階的に減少し、令和14年度に2,500万円の減少となる。

問 統合すると、教育財産から普通財産となる。その場合、町への地方交付税は減少するのか。

質問のねらい

小学校がなくなることは、その地域の衰退につながる。両地域の衰退を防ぐためにも、利活用が大きな課題となってくる。

その他の質問

- 鳴瀬川の管理に係る要望
- イノシシの被害



左：鹿原小 右：西小野田小

町長 鳴瀬川ダム迂回路トンネル工事現場事務所として、令和8年3月から令和9年3月までの1年間使用する。

問 旧おのだにし園幼稚園部は、ダム工事業者が使用しているとのことだが、どのように使われているのか。

子どものため、柔軟な運用を

教育長 今後も柔軟に対応していく



小野田小学校スクールバス

教育長 歩いたほうがいいのか、バスに乗ったほうがいいのか難しいところだが、脚の力は落ちていると感じている。

問 20%しか歩いていないのは衝撃的。歩いて通学することで、体力向上や地域との繋がりが創出になると思うが、現状をどう捉えているか。

教育長 野田小50%、宮崎小8%、賀美石小26%、広原小5%、鳴峰中69%。親による送迎もあり、徒歩で通学している児童生徒は全体の約20%。

問 各小中学校におけるバスの利用状況は。



田中 卓太 議員



録画映像

問 通学バス利用基準は、どのように設定しているか。

教育総務課 文科省の補助金などに準じて、通学距離で設定している。中新田地区は小学校で4km以上、中学校で6km以上。豪雪地帯の小野田・宮崎地区は、小学校で2km以上、中学校で3km以上が対象となる。

問 酷暑やクマなど、画一的なルールでは対応できない事態も増えており、文科省も地域特性に合わせた運用で問題ないとしている。歩く機会を作りつつ、柔軟なルールでの運用はできないか。

教育長 制度上、柔軟な運用は可能。今後、教育委員会、学校運営協議会などで、協議・検討していきたい。

質問のねらい

酷暑やクマなどで通学環境は厳しさを増している。一方、体力向上や地域交流の側面も持つことから、柔軟な運用を求め、質問を行った。

その他の質問

- AIの活用

災害に備える行動の変容を

町長 住民意識を高め災害に強い町へ



早坂 潔 議員



録画映像

問 各家庭には地震発生時どのような対策を呼びかけているのか。

策対長 ハザードマップに地震発生時の行動計画や転倒・落下防止のポイントなど詳細に載っているのを参照して発災に備えてもらいたい。

策対長 各行政区では危険と思われる地域で早めの避難行動ができるよう心がけてもらい、職員には初動対応について改めて訓練を行う。

問 各行政区の防災組織や職員に期待することは。

町長 災害リスクに対する正確な知識の習得、自助の行動力の向上、共助の絆を深め、コミュニティの連携強化に努めてもらいたい。

問 総合防災訓練において、住民にどのような行動変容を期待しているのか。

質問のねらい

緊急地震速報が毎月発生している。災害に対する意識・行動変容のために、防災訓練の目的確認や防災用品への助成を提案した。

その他の質問
● ワクチン接種の支援



通電火災を防ぐ感震ブレーカー

町長 安価だからこそ効率性を考えて検討したい。災害に強い町であることの要因に住民の防災意識が高いことをPRするのも大切だと思う。

問 防災用品に係る費用の助成を多くの自治体で行っている。中でも感震ブレーカーは重りやコンセントのタイプであれば安価で購入することも可能。設置まで含めた支援を検討できないか。

旧宮崎中学校の利活用は

町長 現時点ではゼロベース

総務課長 民間業者が視察し活用の検討を行った経緯があり、鳴瀬川ダム建設工事の事務所、宿舍への利用の考えのほかスポーツ合宿への活用などの意見をいただいている。また、庁内でサウンディング型市場調査を実施し民間活力導入の協議がなされた。

問 これまでのような活用の検討を進めてきたのか。

教育長 校庭は年2回の草刈りと除草剤の散布を行っている。校舎は破損箇所はなく、閉校時の状態が維持されている。また、電気水道はいつでも利用可能である。貸出しについては学校開放に関する規則に準じて可能である。

問 施設の現状や管理状況は。また、貸出し可能な状況なのか。



今野 清人 議員



録画映像



宮崎中学校

その他の質問
● 庁舎建設に係る支所機能の見直し

町長 現時点で決まっているものはなく、心配をかけている皆さんには大変申し訳なく思っている。私の中での最善策は、恒常的に利用する事業者を見つけること。2つ目は、ダムの事務所などとしての利用。3つ目は、体育館を町内外の皆さんが利用しやすいように整備。今後の重要な課題のひとつと捉え、しっかりとやっていきたい。

質問のねらい

令和5年3月の閉校以来、3年が経過したが、いまだに利活用の見通しが見えない現状について問う。

問 現時点での具体的な活用方針はあるのか。

危機管理監を講師に研修会を

危機対策課長

自主防災組織に出向き指導



木村 哲夫 議員



録画映像

質問のねらい

防災マップの改訂・防災アプリ「ハザードン」の活用策や、災害対応に詳しい危機管理監の役割について問う。

林 農課 町内の防災重点ため池について、大雨予報時には事前に放流して低水位管理をしてもらうよう、土地改良区と話をしている。また、管理・監視体制強化のため、来年度以降に監視カメラの設置も考えている。

問 加美町は農地減少で保水力が低下傾向にある。降水量が増加した場合、これまで以上の管理体制が必要になる。農地の保全と水利の調整、ため池の管理など、土地改良区と町が積極的に話し合う必要があると思うが。

問 ハザードンの登録者数と活用状況、今後の目標は。
町長 6月1日現在の登録者数は2,665人で、今年度は5,000人を目指したい。災害に関する情報のほか、クマの出没などの情報発信に活用している。



防災力を高め地域を守る（写真：6/21総合防災訓練）

副町長 危機管理監は元自衛隊の経験を生かし、自主防災組織にいろいろな指導や、実際の活動事例も教えてもらえると思うので、ぜひ進めていきたい。

問 危機管理監を講師にして自主防災組織の研修会などを開催し、知識を深めて自分たちの身は自分たちで守る、共助が重要だと思うが。

危機対策課長 要請があれば各行政区へ出向きたいと考えている。

臨時会
5月1日

工事請負契約可決も工期や費用に不安



工事の無事完成を祈願（6/17 安全祈願祭）

新庁舎建設工事を落札した、丸か建設・小野田建設特定建設工事共同企業体と、工事請負契約を締結することについて可決しました。
世界情勢の変化により不安視される、工期延長や請負金額変更などの質疑を行いました。

問 入札時点で当初の予定から1か月遅れている。遅れを挽回するための対策はどのように考えているのか。

答 工事を早く進めるように促すことは、事故につながる恐れがあるためできない。工事の進捗を見て、工期の延長が必要かどうか事業者と協議しながら進めていく。

問 物価の上昇などに伴う請負金額の増額変更は行うのか。また、最大どの程度増額するかの見込みは。

答 契約書に基づき、物価変動が生じた場合には請負金額を変更する。最大の事業費については、物価変動が著しい現状、想定ができない。事業者と協議しながら、その都度事業費を精査して変更をかけていく。

名蓋川の復旧状況を確認

総務産業
常任委員会
5月28日

名蓋川は、加美町から大崎市へと流れ多田川に合流する河川です。令和4年7月15～16日の大雨により3か所の堤防が決壊したため、県が令和6年度より復旧工事を行っています。工事の内容は、コンクリートブロックによる護岸と盛土を行うもので、下流域より施工しており、今年度中に完成予定です。



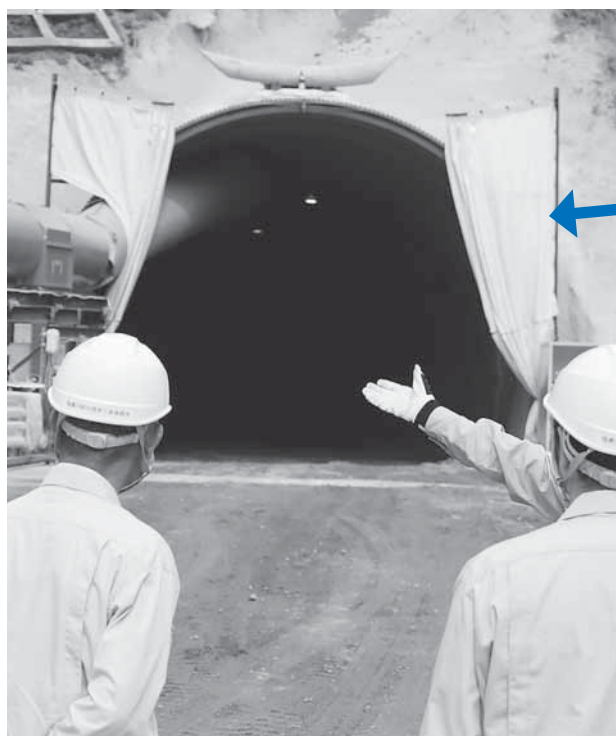
復旧工事は順調に進んでいます



名蓋川地図（出典：Geoshapeリポジトリ）

鳴瀬川ダム
特別委員会
7月1日

期間限定トンネル 建設進む



トンネルの全長は約426m



撮影：鳴瀬川総合開発工事事務所

鳴瀬川総合開発工事事務所より、ダム開発事業の進捗などについて説明を受け、現在工事中の国道347号迂回路トンネルの現場視察を行いました。迂回路トンネルとは、ダムの建設期間中に国道347号が通行できるよう新たに設けるトンネルで、別に建設する付け替え国道完成後は通れなくなります。

問 今後、ダム建設工事が本格化していく中で大型車両の通行が増加すると思うが、国道347号の拡張の予定はあるのか。

答 拡張は行わないが、クランクなど大型車両の通行に適さない箇所があるため、別ルートを検討している。

健康増進・多文化共生の 取り組みを学ぶ

議会
研修
7月13日

全議員で組織する議員会で、健康デジタルアプリ事業
「かみてく」の研修受講と「おおさき日本語学校」の視
察を行いました。

ウォーキングで

健康増進

「かみてく」はアプリを活用した健康増進事業で、健康状態の記録や、健康づくりと運動への意欲を高めることを目的としています。また、ウォーキングなどで獲得するポイントで賞品の抽選を行うことができます。

加美町は健康寿命が県内でも低いことなど多くの課題を抱えており、その解消のためにウォーキングが有効であることの説明を受けました。

多くの町民に「かみてく」へ参加して健康増進に努めていただくため、まずは我々議員がこの取り組みに参加し、健康づくりの大切さとウォーキングの魅力を発信していきたいと思っています。



「かみてく」の
参加方法はこちら

多文化共生の

まちづくり

「おおさき日本語学校」の視察では、実際の授業を見学しました。ベトナム・インドネシア・台湾から来日している学生の皆さんは、教員との受け答えやグループ討議など授業の全てを日本語で行っており、学生の向上心に深い感銘を受けました。その後、他校との連携・交流や地域イベントへの参画、学生寮近辺施設の活用などによる、学校を核とした多文化共生のまちづくりについての説明があり、活発な質疑応答がありました。

現在、鳴瀬小学校との共同田植え作業やそば打ち体験を行うなど加美町と関係も深い学校です。今後もさまざまな交流が続くことを願います。



熱心に授業を受ける学生

視察レポート 議会運営委員会

令和8年7月14日～16日

より住民意見を議会に反映

視察先：福岡県志免町・山口県美祢市・島根県浜田市

志免町 広報・広聴に 動画をフル活用

志免町では議会のPRとして、議会や議員の活動子どもでも理解できるように紹介する動画を制作しています。町民との意見交換会である「志免町議と語る会」で議会理解促進のために活用されるほか、高校生、大学生の主権者教育にも活用されており、動画をフル活用した広報・広聴活動が展開されています。

浜田市 市民の生の声を 政策提言に反映

議会改革の取り組みとして、市民1日議会を実施しています。1日議会は、市民が意見・要望を議場で話すことができる場で、20～40代の参加者が70%を超えます。議員はあくまで聞くことに徹し、いただいた意見・要望を政策提言や議会改革に反映します。また、さまざまな場所に議会ポスターを設置し、投函された地域住民の声に議会がホームページを通じて回答しています。

視察所感

志免町・浜田市では、どちらも広報・広聴活動に力を入れていました。

加美町でも、これまで以上に分かりやすく多くの情報を住民に発信し、また住民の声を気軽にいただける場を検討すべきと考えます。

美祢市では、各常任委員会の所管にまたがる大きな案件を多角的に調査研究するため「地域活性化等対策調査特別委員会」を設置していました。



Youtubeで議会・議員紹介動画を配信中（志免町）

議会のうごき

加美町議会の主な活動を報告します

5月
～7月

①



新生児のご家庭に金芽米をプレゼント

②



階段の壁などで雨漏り

月 日	本会議・委員会など	内 容
5月	1日	第 4 回 臨 時 会 条例の制定、新庁舎建設工事請負契約の締結など
	12日	教育民生常任委員会 加美町子育て応援ギフト事業などについて調査 ①
	15日	全 員 協 議 会 加美町健康デジタルアプリなどについて協議
		放 射 性 汚 染 廃 棄 物 特 別 委 員 会 放射性汚染廃棄物の処理について調査
	25日	議 会 運 営 委 員 会 第2回定例会の運営について協議
	28日	総務産業常任委員会 住民バス運行事業などについて調査
6月	10～12日	第 2 回 定 例 会 一般質問・議案審議
7月	1日	鳴瀬川ダム特別委員会 現地視察（国道347号迂回路トンネル工事）
	2～3日	宮城県町村議会議長会議 議員講座 人口減少時代の地方議会のあり方、これからの地方議会と地方議員について講義受講
	13日	議 員 会 研 修 会 健康アプリ操作研修・おおさき日本語学校視察
	14～16日	議 会 運 営 委 員 会 行政視察（福岡県志免町・山口県美祢市・島根県浜田市）
	21日	教育民生常任委員会 中新田小学校の雨漏りなどについて調査 ②
	24日	全 員 協 議 会 加美郡保健医療福祉行政事務組合の経営形態について協議
		第 5 回 臨 時 会 地ビール缶充填機購入契約の締結、補正予算

※議会だよりの編集のため、議会広報常任委員会を5回（6/12、6/17、7/10、7/17、7/22）開催しました。

議会だよりへ一言

議会だより91号（令和7年11月1日発行）に対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

モニター

〈一般質問〉

その他の質問がなかった場合、「その他の質問 ○なし」という記載は
いないのでは。

広報
委員会

ご意見ありがとうございます。今号より記載しないこととしました。

次回の定例会は

9 月 中 旬

から開催します

議会傍聴について



傍聴の受付は「小野田支所3階」にて行います。
規則により、傍聴を希望する方は申請書への住所・氏名・年齢をご記入ください。

一般傍聴席は「19席のみ」となります。
満席時には、1階会議室で生中継を視聴できます。

インターネットで映像配信しています ▶



傍聴・視聴された方（延べ人数）

会 議	傍聴者人数		議会中継(LIVE) アクセス件数
	男性	女性	
第2回定例会	6	2	475



～孫沢の絶景 一見の価値あり～

宮崎・孫沢



佐々木 伸幸 区長

世帯数 32世帯
人口 78人
(令和8年7月1日現在)

孫沢行政区は、孫沢ため池より流れる孫沢川沿い、田川の合流点を望む高台に位置する32世帯の小さな集落です。宮崎大橋より見る薬菜山、舟形連峰や、春に木幡邸・山ノ神社に咲き誇るしだれ桜、冬の孫沢ため池に飛来する渡り鳥の群れは一見の価値があります。

集落のほとんどは農家ですが、高齢化・後継者不足のためか、耕作を行わない水田が増加してきました。牧草畑や野菜畑に変えたり、住民共同で江払いや除草に努めています。今後のあり方を皆で考えていくつもりです。

花壇への草花の植え付けや秋葉神社・熊野神社の春秋のお祭りに備えた除草清掃、元朝参りのための除雪など行っています。新年のつどいや秋祭りまたミニデイでは温泉に浸かり、防犯や健康についての講話の後、ゲームなどをして楽しんでいます。

昨今、獣害が世を騒がせていますが、孫沢も熊・猪・鹿・狐・狸…まるで動物園です。作物への被害も発生しています。人への被害が発生しないよう、町の支援もいただきながら注意と対策を行っています。



クリーンデイのゴミ分別作業中

われらが仲間

導かれ ご縁を生きる仲間たち 小野田城内・婿の会「新風会」

寄稿：佐藤清陽さん(写真左上)



加美町小野田城内地区で「新風会」が発足したのはかれこれ45年前です。きっかけは私の結婚を機に舅であった義父（故佐藤洋次）が既に結婚していたお婿さんを自宅に招き、顔合わせの食事を開催してくれたことでした。「城内地区で友人を作って欲しい」という優しい心づかいから生まれたのが新風会でした。最初は数人でスタートしましたが、今は十数人のメンバーが在籍しています。地域に新しい風を吹き込むという意味をこめて最初は「ニューウインドの会」という名称でしたが、年齢を重ねる内に「新風会」となり、今も年に数回旅行や懇親会を企画して愉しんでいます。

城内地区は、子ども達を巻き込んだ夏の祭りや地域に根ざした活動を行っています。たので、新風会メンバーも地域活性化のために活動を支えてきました。かれこれ40年以上、精神的支柱になっているのがこの新風会メンバーです。現在はほとんどが還暦や古稀を過ぎ、子どもや孫とともに地区の盛り上げに一役買っています。

これから和して楽しむ「和楽」の精神で住みよい地域作りに貢献してまいりたいと思っています。

委員の一言

議会広報の編集に携わるたび、議会での議論や決定を町民の皆さまに分かりやすく届ける大切さを感じます。教育、福祉、防災、産業振興など、議会のテーマは暮らしに直結しています。限られた紙面ですが読みやすく親しみを持っていただけるよう心掛け編集いたしました。この議会だよりが町政を身近に感じる一助となれば幸いです。

(今野 清人)

議会広報常任委員会

編集委員

委員長	高橋 聡輔
副委員長	伊藤 由子
委員	佐藤 圭介
〃	今野 清人
〃	早坂 潔
〃	田中 草太